

書籍の構成

タイトル：動物用ワクチン ― その理論と実際 ―

編集：動物用ワクチン－バイオ医薬品研究会

体裁：A4 版、2 段組、350 頁、予価 9,800 円

出版期日：2011 年 10 月下旬（予定）

出版社：文永堂出版株式会社

対象：共済、家保、製薬メーカーの担当者、研究所や大学の研究者

本書の内容はワクチンが使用される現場に即しており、各種講習会や大学での講義のテキストに最適です。

構成：下記の通り

序文

略語 凡例

目次

I. 総論

- | | | |
|-----|-------------------|--------------|
| 1. | ワクチンの歴史 | 平山 紀夫 |
| 2. | 感染症に対する防御とワクチンの原理 | 小沼 操 |
| 3. | ワクチンの種類とアジュバント | 田村 豊、坂口 正士 |
| 4. | ワクチンの有用性と有効性の評価 | 明石 博臣 |
| 5. | ワクチネーションプログラム | 各メーカーの専門家が執筆 |
| 6. | ワクチン使用上の注意 | 西村 昌晃 |
| 7. | ワクチンの副作用 | 岩本 聖子 |
| 8. | ワクチンの品質管理 | 中村 成幸 |
| 9. | ワクチンの許認可制度 | 中村 成幸 |
| 10. | 諸外国の法規制とその調和 | 平山 紀夫 |

II. 各論（市販の 86 製剤の詳細－各メーカーの専門家が執筆）

1. 牛用ワクチン（14 製剤）
2. 馬用ワクチン（5 製剤）
3. 豚用ワクチン（24 製剤）
4. 鶏用ワクチン（32 製剤）
5. 魚用ワクチン（4 製剤）
6. 犬用ワクチン（4 製剤）
7. 猫用ワクチン（3 製剤）

III. 将来展望

- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 1. | 動物用ワクチンの将来展望 | 坂口 正士 |
| 2. | これからのワクチン | 坂口 正士 |
| 3. | これからのワクチンデリバリーとアジュバント | 宗田 吉広 |

付録 動物用ワクチン（血清、診断液も含む）の一覧

索引